

寺 報

No.686

令和6年10月

蓮華寺
行

御聖訓

末代濁悪世の愚人は、念仏等の
難行易行等をば抛って、一向に法
華經の題目を南無妙法蓮華經と唱
え給うべし。

『善無畏三蔵鈔』



(解説)

世にいう賢い人や学者達は、学問にすぐれているので、お釈迦様がお説きになりました、八万四千の法門を全て習学する事もよろしいでしょう。

しかし、今は末法の時代、この大変な世の中に生きる我々は、ひたすら南無妙法蓮華經のお題目を唱え仏道を成就すべきであると、日蓮大聖人はお教えになりました。

世間では、やさしいといわれる宗派や、また難行といわれる宗教が乱立して我々を勧誘している状態ですが、我々はその全てを捨てて、法華經・お題目に帰依しなければなりません。

その理由は、大聖人が長年に渡り諸經と法華經とを比較対照し勉強を続けた結果、法華經のみがお釈迦様の真意を説いていると確証を得たからなのです。この大聖人の努力を無駄にせず、我々は教えの通り実践していかなければならないのです。

よく、世間の人がいう「何宗でも構わない」という言葉は、我々には絶対あつてはならないのです。

御会式

十月二十七日(日)

午後一時より



※法要終了後、ご法話あり

毎年好評の『大平上人』が今年もお話をします。

* 本年は、第七百四十三回目のご法事に当ります。

檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖人様へご報恩の誠を尽しましょう。

* お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読みますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。

* 先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。

* お供物も受付けています。

* 法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

『御会式』に参拝しよう!

『御会式』は毎年執り行います日蓮大聖人のご命日忌法要でありまして、皆様の家庭でいうご法事の事をいいます。

皆様のご先祖様や仏様は、日蓮大聖人の唱えられましたお題目のお力によって成仏されているという事を決して忘れてはいけません。

もし日蓮大聖人がおいででなかったら、当然、ご先祖様や仏様も成仏出来ず、また現在皆様をお助けしていますご祈祷や靈断やお守りというものも、一切存在しなかったのです。

どうか皆様も、もう一度【ご報恩】というものを考えてみてはいかがでしょうか。

少し心にゆとりを持ち、ご報恩感謝の為に法要に参列し、日蓮大聖人様にご焼香する事が、日蓮宗檀信徒の本来の姿ではないでしょうか。

皆様が法華経・お題目を唱え、心の支えとして一生懸命生き抜く事が、ご先祖や仏様更には日蓮大聖人が一番喜ばれる事なのです。

日蓮大聖人の御入滅

日蓮大聖人は鎌倉を中心とするお題目の布教を続けた結果、数々のご法難を受け最後には佐渡ヶ島に流されました。

その後、赦免され鎌倉へ戻りましたが、幕府への三度の諫曉(いさめさとす事)も退けられ、もはや山林に隠れるべきとし、身延の山に入山されました。

それから足掛け九年、長年の法戦と受難の末、痛められましたお身体を湯治で癒す為、信者の南部氏所有の常陸国(茨城)の温泉へとお移りになりました。

また長く訪れていなかった、故郷の父母のお墓にもお参りしようと考えていたようです。

この二つの目的をもって、長く住み慣れました身延山を後にしました。

身延山を立たれた大聖人は、途中熱心な信者であります池上宗仲の館があります武蔵国(東京)に旅装をお解きになりました。

ところが、ここで急に体調をくずされた為、終に自らもここを入滅の地と定め、多くの弟子や信者達を召集させたのでした。

師の病を氣遣って、池上の館に参集しました人達に、大聖人は最後の説法としまして『立正安国論』を講義されたのでした。

やがて病が重くなりました大聖人は、お弟子の中から日昭・日朗・日興・日向・日頂・日持の六人(六老僧)を選び「本弟子」と定め教団の後を託しました。

また、当時数え十二歳の経一磨(日像)を枕辺に呼びまして帝都(京都)への伝道をゆだねたのでした。

弘安五年(一二八二)十月十三日、臨終の床にありました大聖人は、枕辺に大曼荼羅御本尊を掛けさせ、その前に立像のお釈迦様を安置させました。

やがて一門の弟子や信者が読経する中で、辰の刻(午前八時頃)静かに波瀾に富んだ六十一年のご生涯を終えたのでした。

その時、大聖人のご入滅を悼むかのように、ゆるやかな地震があり、またお弟子の日昭が臨滅度時の鐘を打ち鳴らした時には、全山の桜が花を咲かせたと伝えられています。

こうして、池上の館はご入滅の地となり、ここに『本門寺』が創建されたのでした。

檀信徒研修会のお知らせ

☆十月十九日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂「イス席です」

持参品…聖典(事務所)・数珠・太鼓(所有者の者)

*月一度の修行ですので、この機会を逃さず、お経と

お題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や

友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各

自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

『提灯』の募集!

当山で『御会式』『鬼子母神大祭』『お正月』に下げ
ます『提灯』(トロー)を募集致します。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、
初年度のみ一万円となります。

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、
下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書か
れ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ておりま
す。

一部・・・五〇〇円

◎令和七年度「暦」

一部・・・一五〇円

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事があ
りましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶
が解決、ご指導致します。霊断と『霊』の字がありますが、霊を呼び出してなど
という事は決してありませんのでご安心下さい。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千円です】

必ずご予約をお願いします。

☎776-5840

竜ノ口御法難会

十月十三日(日)

午後一時より

於…大本堂



*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコロモチですが、秋はオハギ(お萩)・春
はボタモチ(牡丹餅)といわれています。

*お供物も受け付けます。

注『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で
執り行います。

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が
唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様
が今後代々に渡り守り続けられていきます。◎仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家
庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位
牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼が
あればお経も唱えさせて戴きます。◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに
仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり
青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきて
います。それでも大丈夫です。◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の
方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲
りしています。(注管理費は変わります)

【三席】から【特席】にも上がれます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので
『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来
て助かります。

◎詳細は事務所まで!

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』のご祈禱を行っております。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成三十年生れの女兒

◎五歳・令和二年生れの男児

◎三歳・令和四年生れの女児

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、日蓮宗の特別のご祈禱をお受け下さい。時間は約二十五分くらいです。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「千支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。

※用意する物・御神酒一升（ご本人の名前を書く）



『靈神符』を持ちましょう！

最近はいよいよ思えない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状態です。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『靈神符』（お守り）を肌身離さずお持ちになりますようお願い致します。



【一体・百八十円】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

最上稲荷堂の内装工事完成

今般、当山稲荷堂内の内装、電気器具等がすべて新しくなりました。これもひとえに皆様の浄財（お賽銭）のおかげです。誠に有り難うございました。今後ともよろしくお願い致します。

十月の行事

一日（火）『盛運祈願会』

午後一時より

- ・毎月のお守り【靈神符】の交換の日です。
- ・お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。
- ・檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十三日（日）『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）

・如来寿量品第十六（真読・漢字読み）

十三日（日）『竜ノ口御法難会』 午後一時より

十七日（木）『妙見小祭』 朝のお勤め中

十九日（土）『檀信徒研修会』 午後七時より

二十七日（日）『御会式』 午後一時より

二十七日（日）甲子『大黒様の日』 朝のお勤め中

三十日（水）『鬼子母神小祭』 朝のお勤め中

☆奉仕のお知らせ

二十四日（木）『御会式』の準備・・・午前九時より

・『御会式』の際、大本堂に飾る桜の花は、毎年教宣部と檀信徒の皆様が奉仕で作られています。

どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様へのご報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。

・教宣部男性は大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の準備になります。

二十七日（日）『御会式』のお手伝い

・教宣部男女・・・午前十時より

二十八日（月）『御会式』の後片付け

・教宣部男女・・・午前十時より

・大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の後片付け
②『御会式』は大事事です。準備、後片付け等が大変です。

沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。教宣部員以外の檀信徒の方も歓迎致します。どうぞ、時間までにお出で下さい。

教宣部長・杉淵昌三

お え しき 御 会 式

*法 要

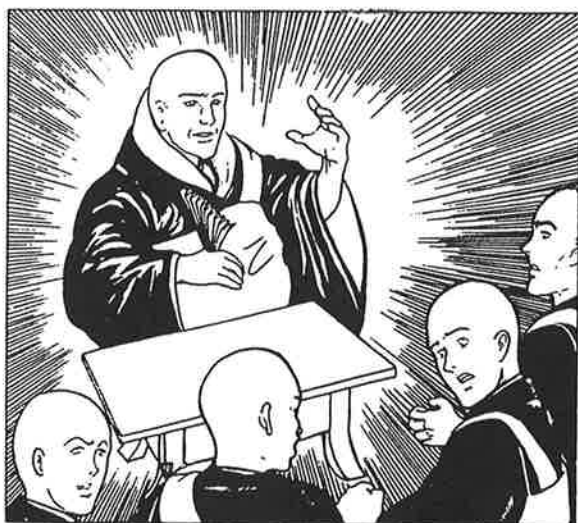
十月二十七日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

講 師：日蓮宗靈断師会・指導局長
広島市・龍華寺住職

大平 貫脩 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、
日蓮大聖人様へご報恩のご焼香をしましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養
【諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。